



平成 24 年 11 月 14 日

各 位

会 社 名 徳倉建設株式会社
代表者名 代表取締役社長 徳倉 正晴
(コード：1892、名証第2部)
問合せ先 取締役経営管理本部長 郡司 哲夫
(TEL. 052-961-3271)

第 2 四半期累計期間業績予想と実績値との差異および 通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 24 年 5 月 14 日に公表した平成 25 年 3 月期第 2 四半期累計期間の連結業績予想と本日公表の実績値との差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 24 年 5 月 14 日に公表した平成 25 年 3 月期通期の連結業績予想を下記の通り修正致しましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 25 年 3 月期 第 2 四半期 (累計) 連結業績予想数値と本日公表の実績値との差異 (平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日)

単位：百万円

	売 上 高	営業利益	経常利益	四 半 期 純 利 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	15,000	△50	△280	△400	△19 円 42 銭
今 回 修 正 予 想 (B)	15,711	△138	△362	△459	△22 円 28 銭
増 減 額 (B - A)	711	△88	△82	△59	
増 減 率 (%)	4.7	—	—	—	
(参考) 前期第 2 四半期 (累計) 連結実績 (平成 24 年 3 月期第 2 四半期)	14,215	△166	△526	△627	△30 円 44 銭

2. 平成25年3月期 通期連結業績予想数値の修正

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

単位：百万円

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	39,000	600	250	100	4円85銭
今回修正予想 (B)	40,000	600	250	50	2円43銭
増減額 (B - A)	1,000	—	—	△50	
増減率 (%)	2.6	—	—	△50	
(参考) 前期実績 (平成24年3月期)	38,102	115	△180	△1,403	△68円14銭

3. 平成25年3月期 第2四半期(累計)個別業績予想数値と実績値との差異

(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

単位：百万円

	売上高	経常利益	四半期 純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	11,000	△120	△180	△8円64銭
今回修正予想 (B)	11,716	△271	△469	△22円56銭
増減額 (B - A)	716	△151	△289	
増減率 (%)	6.5	—	—	
(参考) 前期第2四半期(累計)個別実績 (平成24年3月期第2四半期)	10,451	△330	△459	△22円09銭

4. 平成25年3月期 通期個別業績予想数値の修正

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

単位：百万円

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	28,000	150	50	2円40銭
今回修正予想 (B)	30,000	150	△50	△2円40銭
増減額 (B - A)	2,000	—	△100	
増減率 (%)	7.1	—	—	
(参考) 前期実績 (平成24年3月期)	25,933	△165	△1,495	△71円82銭

5. 修正の理由

(1) 通期個別業績予想

当期受注工事が予想を上回っていることにより、売上高の増加を見込んだための修正であります。また、利益については、投資有価証券の評価損を見込んだための修正であります。

(2) 通期連結業績予想

通期業績につきましては、主に通期個別業績予想の修正に伴うものであります。

(3) 第2 四半期個別業績予想

売上高の増加は、手持ち工事の施工が想定を進捗率を上回ったことによるものであります。

経常損失の増加は工事利益率の低下及び為替差損によるものであります。四半期純損失の増加は、為替差損及び投資有価証券評価損によるものであります。

(4) 第2 四半期連結業績予想

連結業績につきましては、主に個別業績予想の修正に伴うものであります。

(注) 上記の業績予想は、当社が本資料の発表時現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上